

# 目標を達成するために必要な施策案について

令和3年（2021年）10月5日  
能勢町



能勢PR キャラクター  
「お浄・るりりん（アマビエver）」

# 1. 計画の基本方針

## ■基本方針の設定

- 上位計画や関連計画、公共交通を取り巻く課題、能勢町における公共交通の考え方及び公共交通の果たすべき役割を踏まえ、以下の基本方針を設定する。

### 【計画の基本方針】

## いつまでも安心できる暮らしとまちづくりを支える公共交通

- 第6次能勢町総合計画は、第5次能勢町総合計画の次期計画として、令和4年(2022年)の策定に向けた検討を進めている。令和2年(2020年)10月に実施した住民アンケートのうち、暮らしの基盤づくりの施策の評価について、公共交通施策となる「公共交通の配備等による交通網の充実」は、今後の重要度が高い結果となっており、優先して充実が求められる施策に分類される。
- また、まちづくりの取組として、能勢町役場新庁舎が令和3年5月に開庁し、旧東郷小学校周辺の再編整備として、さとおか防災コミュニティセンターが令和3年8月に開所した。現在、東地区の福祉拠点施設となる旧歌垣小学校の再編整備が進められており、地域の拠点を結ぶネットワーク化に向けた検討を行い、地域間交流を促進するような公共交通サービスの構築が必要となる。
- 能勢町における公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあるが、公共交通を必要とする高齢者は、今後も増加が見込まれる。そのため、高齢化の進展や人口減少に対応した日常生活を支える公共交通サービスの構築が必要となる。
- したがって、上位・関連計画との整合を図り、能勢町の地域特性や住民ニーズに対応した公共交通ネットワークを構築していくものとする。
- 持続可能な公共交通網を構築するためには、行政や交通事業者などが単独で取り組むのではなく、住民、交通事業者、行政が連携する必要があるため、それぞれが担う役割を認識し、主体的な取組を展開していくことができる公共交通を支える仕組みを構築していくものとする。

## 2. 計画の目標

### ■計画の目標の設定

○ 計画の基本方針に基づき、以下の目標を設定する。

#### 目標① 持続可能な公共交通ネットワークの構築

公共交通の運行経費に係る財政負担について制約があることを踏まえ、地域特性に応じた適切な交通モードの活用による運行の効率化及び公共交通の利便性の向上を図り、利用者及び運賃収入を増加させる取組を進めるとともに、地域住民に支えられ、親しまれる公共交通に育てることが重要となる。自動車を運転できない学生をはじめ、更なる高齢化の進展により、自動車での移動が困難になる人や運転免許証を返納する人の増加が見込まれる中で、多様化する移動目的への対応等、多様なニーズに対応する必要がある。

このため、各交通モードの役割や機能分担を明確にし、合理的で効率的なネットワークの形成を図るとともに、地域特性に応じた公共交通サービスを提供し、行政、事業者、地域が一体となって、公共交通空白地域の解消だけでなく、町全体の魅力を高め、定住・交流を促進するまちづくりのツールとして、かつ将来にわたって公共交通の持続性を高めながら、柔軟な公共交通体系の構築を目指す。

また、町内における公共交通の拡充と持続性のあるものとするために、補助制度等の活用も考慮した一定の財政投資を行うとともに、交通事業者と連携して利用状況等のモニタリングを継続して実施し、必要に応じた見直しの検討及び実施ができる仕組みの構築を図る。

## 2. 計画の目標

### 目標② 公共交通機関相互の連携強化と利便性の向上

新たな公共交通システムの導入に当たっては、既存の公共交通との機能・棲み分けが必要であり、これらの考慮がなければ、既存の公共交通への影響が大きく、路線バスやタクシーの廃止・撤退につながるおそれがある。

また、公共交通利用者の維持・増加を促すためには、移動ニーズに応じた地域公共交通ネットワークの形成とともに、サービス内容の改善により利便性を強化することやわかりやすい情報提供も求められる。

このため、路線バスやタクシーと新たな公共交通システムとの適切な機能・役割分担を図り、住民・利用者ニーズに応じた乗継拠点の整備、既存ストック（主要施設やバス停など）を最大限に活用して公共交通相互による連携強化を目指す。

また、自動運転技術やICT（情報通信技術）などの技術革新の動向を捉えつつ、地域特性に応じた活用により、誰もが利用しやすい公共交通環境の整備を図ることで、利便性の向上を目指す。

### 目標③ 公共交通をみんなで創り、守り、育てる意識の醸成

公共交通によるサービスが安定的・持続的に提供され続けることが重要であり、住民（地域）、交通事業者、行政等がそれぞれの役割分担のもと、連携・協働し取り組む必要がある。

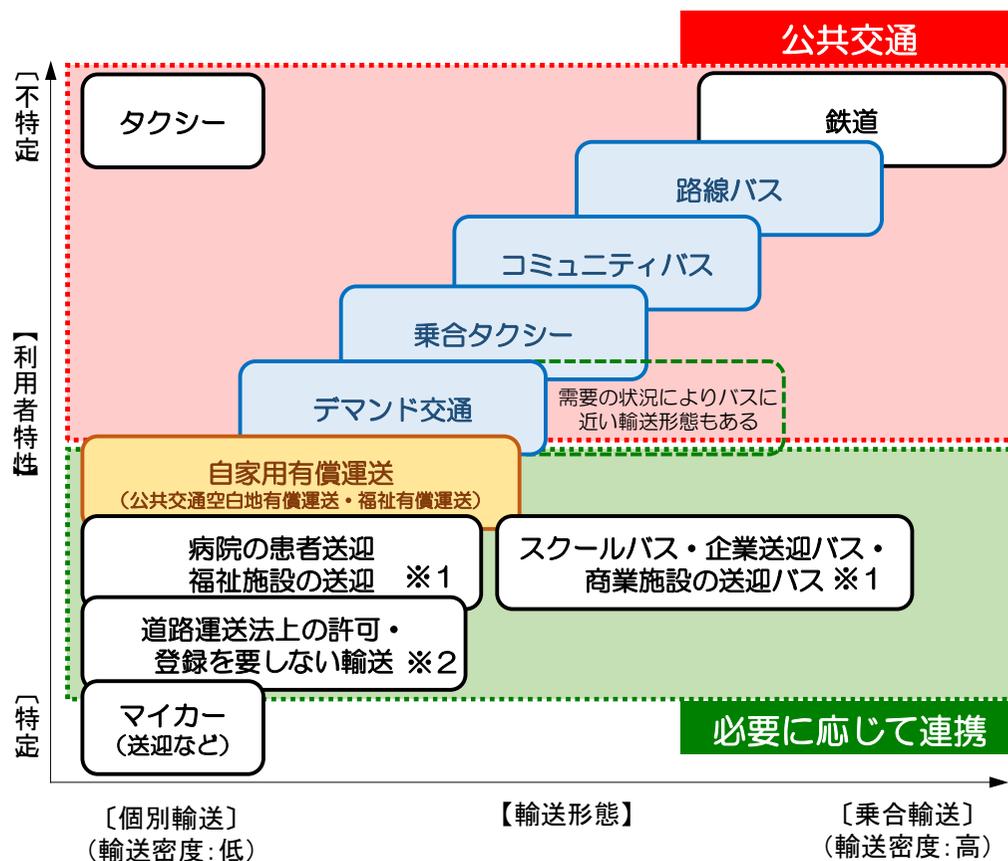
今後、増加が見込まれる自由目的移動や公共交通利用のニーズに対して公共交通の持続性を高める観点から、利用者である地域住民が主体となって、公共交通を守り、育てていく意識の醸成を図る。

また、公共交通の持続的な運行を確保するため、交通事業者と連携し、公共交通事業の維持に向けた取組や継続性を見据えた担い手の確保・育成等に努める。

# 3. 能勢町における公共交通の考え方

- 能勢町の公共交通は路線バス、タクシーがある。
- 公共交通は、自家用車での移動が困難な高齢者や学生等を中心とした移動手段を持たない方の日常の移動手段確保、交通不便地域のニーズへの対応が強く求められる。
- 高齢者や障がい者が自立的に生活できる環境整備の一環として、移動手段を確保することによって、外出機会の創出による健康増進、地域活性化への寄与も期待される。
- なお、利便性や効率性の視点から、必要に応じて、特定多数を対象とする福祉交通、利用目的が限定的な民間送迎サービス及び道路運送法上の許可・登録を要しない輸送（無償輸送（ボランティア輸送））との連携についても、検討を進める。

## ●利用者特性と輸送形態による地域公共交通の位置付け



※1：様々な運行形態で行われている（無償の場合は道路運送法の対象外）  
 ※2：互助による輸送（≒無償によるボランティア輸送等）

# 4. 目指すべき公共交通体系の考え方

## ■公共交通体系の基本的な考え方

- 今後も持続可能な公共交通のあり方を検討するにあたっては、各交通モード単独で利便性や生産性の向上を図るのではなく、各交通モードで役割分担を行いながら、全体的に連携強化を図る必要がある。
- このような考え方のもと、能勢町の公共交通について、現在の運行状況や役割を踏まえ、「基幹交通」、「地域交通」に機能分類し、階層的なネットワークの構築を目指すものとする。
- 公共交通網の基本的な考え方を踏まえた公共交通ネットワークの構築を目指すべく検討を行うものとする。

### ●能勢町における公共交通の役割分担と位置付け（案）

機能分類	役割	対象交通モード
基幹交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内と町外の鉄道駅を結ぶ広域交通体系の骨格を形成し、町外への通勤・通学等の町民の移動や能勢町への来訪者の移動のための広域的な移動を支える役割を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 路線バス（西能勢線・妙見口能勢線）</li> </ul>
地域交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹交通が乗り入れ困難な生活圏内の移動を支え、基幹交通や町内の拠点へのアクセス手段として、町内移動を支える役割を担う</li> <li>・ 基幹交通では、対応しきれない需要が分散・少ない地域を補完する新たな公共交通として新たな交通システム（乗合タクシー）を『地域交通』として位置付ける</li> <li>・ タクシーは、他の公共交通機関が運行していない時間帯を補完するとともに、住民及び来訪者の移動等に対し柔軟に対応可能な移動手段として、能勢町の公共交通として位置付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな交通システム（乗合タクシー）</li> <li>・ タクシー</li> </ul>



必要に応じて連携

#### 特定の利用者を対象とした交通

- ・ 自家用有償運送（公共交通空白地有償運送・福祉有償運送）
- ・ スクールバスや民間送迎バス

#### 道路運送法上の許可・登録を要しない輸送

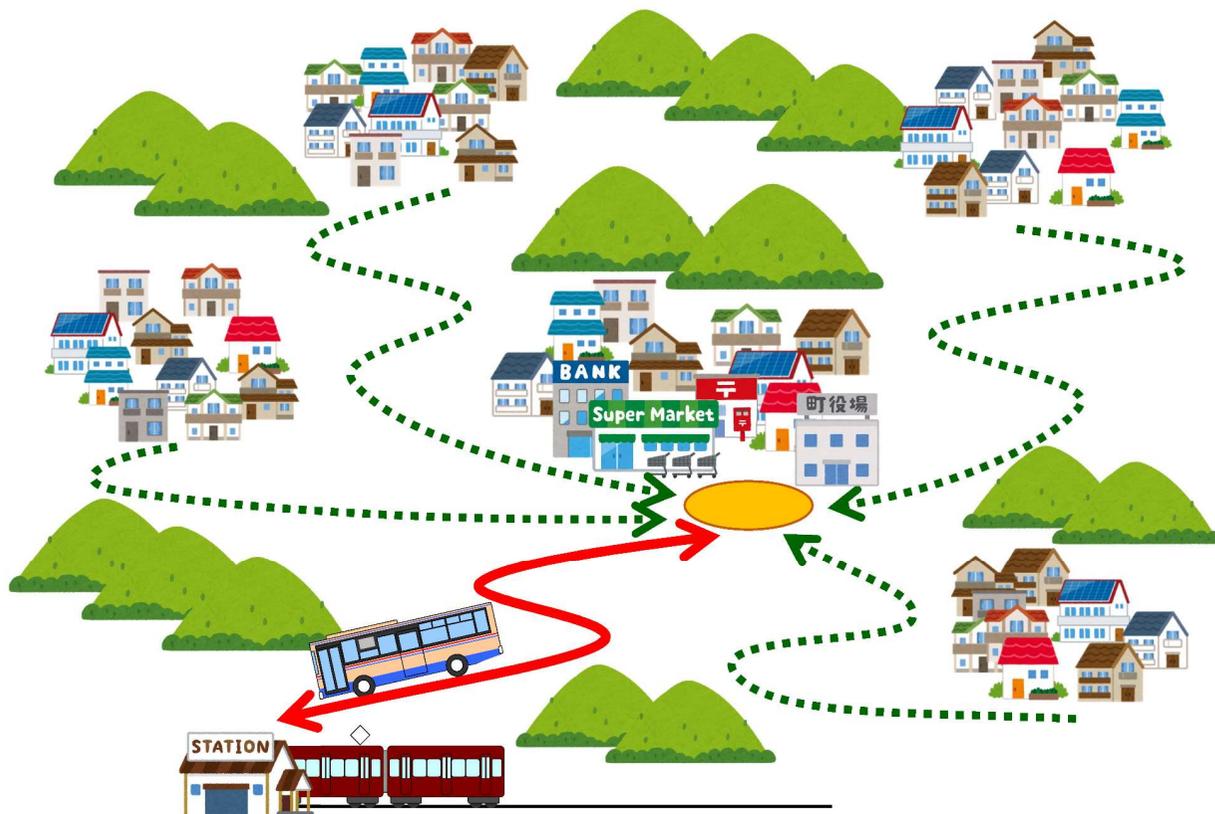
- ・ 無償運送（ボランティア輸送）

# 5. 公共交通の目指すべき基本的な考え方

## ■能勢町の目指すべき将来の公共交通ネットワーク

○ 町内の拠点間、町内の拠点と町外の鉄道駅間、あるいは拠点と居住エリアの移動をスムーズにし、町民の外出機会を創出するとともに、拠点に人を集めることで、地域の活力向上を促すことと、乗換えの拠点を設けてそこで基幹交通と地域交通を乗り換えて輸送の効率化を図る公共交通ネットワークの構築をめざします。

### ●能勢町の目指すべき将来の公共交通ネットワークイメージ



- ◆基幹交通は、町内の交通結節拠点と町外にある能勢電鉄の鉄道駅を結ぶ
- ◆地域交通は、町内の各地区と町内の拠点となる交通結節拠点を結ぶ

## 6. 取組みの施策体系と取組むべき施策

### 目標①

持続可能な公共交通ネットワークの構築

施策1 地域特性に対応した持続可能な公共交通ネットワークの構築

施策2 交通事業者への支援

施策3 新たな交通システムの導入

### 目標②

公共交通機関相互の連携強化と利便性の向上

施策4 利用環境の改善

施策5 多様なツールを活用した分かりやすい情報提供の実施

施策6 運賃決済等の利便性向上を図る交通系ICカードの普及促進

施策7 先進技術の活用による移動手段確保やICTの活用に向けた検討

### 目標③

公共交通をみんなで創り、守り、育てる意識の醸成

施策8 公共交通利用に向けた意識啓発

施策9 地域で公共交通を支える仕組みづくり

施策10 交通事業者との連携による乗務員の確保

## 施策1 地域特性に対応した持続可能な公共交通ネットワークの構築

- 居住地が分散している能勢町の地域特性に対応するため、各地域から地域拠点・乗継拠点への町内の移動、地域拠点・乗継拠点から町外への移動手段を確保するため、基幹交通（路線バス）、地域交通（新たな交通システム、タクシー）等を連携させた、持続可能な公共交通ネットワークを構築する。
- 公共交通事業の収支の改善及び町の財政負担の軽減を図るために、利用状況をはじめ路線バス、新たな交通システム、タクシー等の適正な役割分担を踏まえ、適切な見直し・改善を行う。

### ●能勢町の目指すべき将来の公共交通ネットワークイメージ



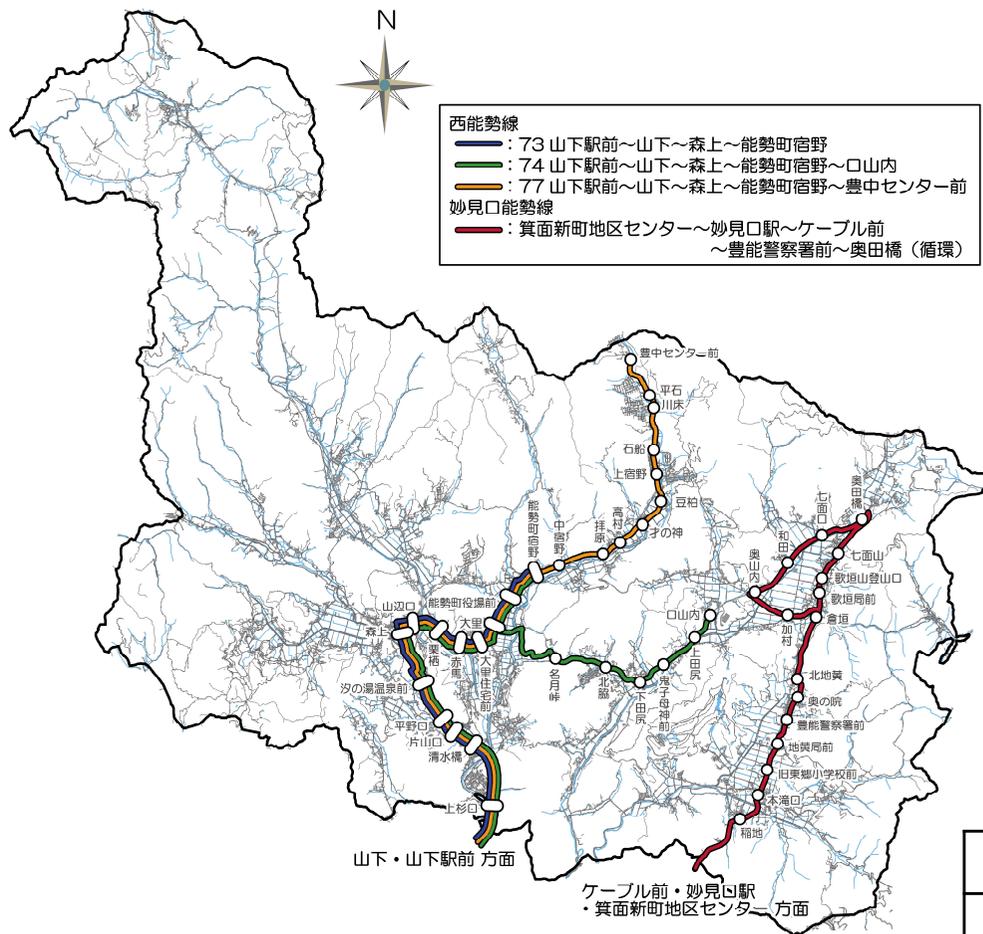
- ◆基幹交通は、町内の交通結節拠点と町外にある能勢電鉄の鉄道駅を結ぶ
- ◆地域交通は、町内の各地区と町内の拠点となる交通結節拠点を結ぶ

実施主体				事業スケジュール				
町民	事業者	町	その他	R4	R5	R6	R7	R8
	○	○		検討	モニタリング・実施			

## 施策2 交通事業者への支援

○ 町外の鉄道駅と町内を結ぶ路線バスは経年的に赤字状態であり、厳しい経営状況にある。引き続き、利用状況や費用対効果（特に財政的な負担）の視点などを踏まえ、基幹交通である路線バスの維持・確保に向けた支援に努める。ただし、利用状況により他の交通モードへの転換も検討する。

### ● 能勢町における路線バスネットワーク



### ◆ 西能勢線（森上）



### ◆ 妙見口能勢線（旧東郷小学校前）



- 能勢町では、路線バスの維持を図るために、「地方バス路線維持費補助金」として、運行経費の赤字分を妙見口能勢線は全額負担、西能勢線は一部負担している。
- この負担金だけで町内における路線バスの赤字を全て賄うものではなく、路線バス事業者も多額の赤字を負担し、運行を続けている。

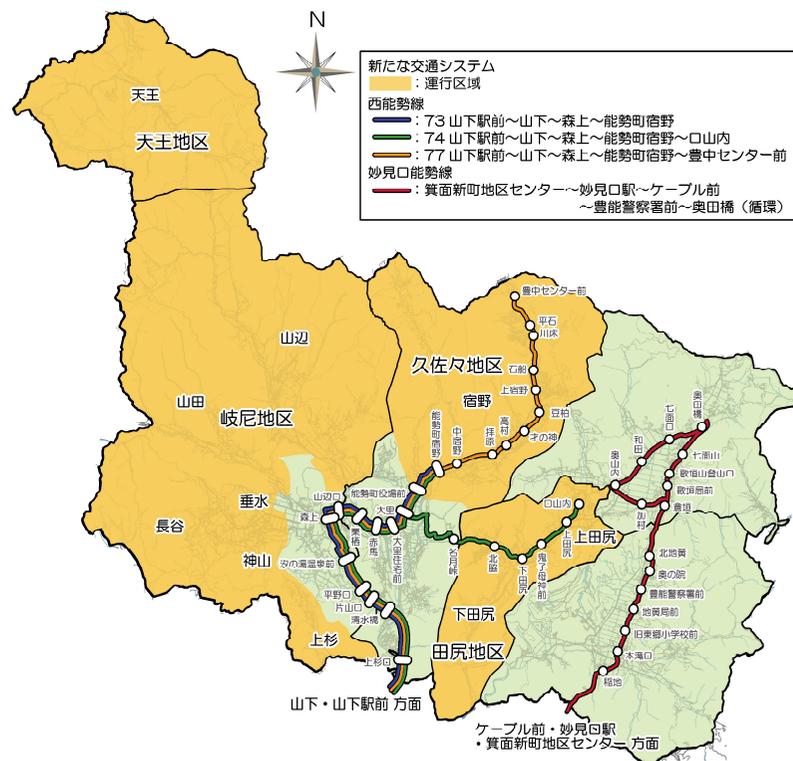
実施主体				事業スケジュール				
町民	事業者	町	その他	R4	R5	R6	R7	R8
	○	○		実施	→	モニタリング・実施	→	→

### 施策3 新たな交通システムの導入

- 主に路線バスが運行していない地域を対象として、町内の公共施設や生活利便施設等への移動の利便性を向上し、まちづくり支援、賑わい創出及び健康増進につなげるため、新たな交通システムを導入する。
- 導入にあたっては、基幹交通（路線バス）等との連携に配慮する。

能勢町では、路線バスを運行しない地域を基本に、買い物や通院等の日常の移動手段を確保するため、新たな交通システムの実証運行を令和4年度予定で検討を進めている。

#### ●令和4年度実証運行予定の新たな交通システムの運行エリア



実施主体				事業スケジュール				
町民	事業者	町	その他	R4	R5	R6	R7	R8
	○	○		検討		モニタリング・実施		

### 施策4 利用環境の改善

- 路線バスや新たな交通システムの利便性や快適性を高めるため、停留所の利用状況などを踏まえながら、交通事業者や道路管理者などと連携し、新たなベンチや上屋、運行情報の案内の整備などにより待合い環境の向上を図る。
- 利用者がひと目で見分けられるような車両ラッピング等による親しみやすい環境づくりの実施に向けた検討を行う。例えば、車両ラッピングは地域のバスとして、路線バスへの親しみと関心を持ってもらう効果が期待できる。

#### 【事例】バス停ベンチ設置の補助（豊中市）

豊中市では、市民からの要望が多いバス停ベンチの設置を推進するため、バス事業者が実施するバス停のベンチ設置に対して補助を行っている。バス事業者が実施するバス停ベンチ設置に要する費用の1/2を市が補助するものとしている。



#### 【事例】ラッピングバスの運行（吹田市）

吹田市では、令和2年に市制施行80周年を迎え、吹田市制80周年記念事業の一環として、市内を運行するバス路線において、ラッピングバスを運行している。吹田市内にあるPanasonic Stadium Suita（市立吹田サッカースタジアム）を本拠地とするサッカーチーム『ガンバ大阪』との協働によるラッピングバスも運行している。



出典：吹田市HP、阪急バス株式会社HP

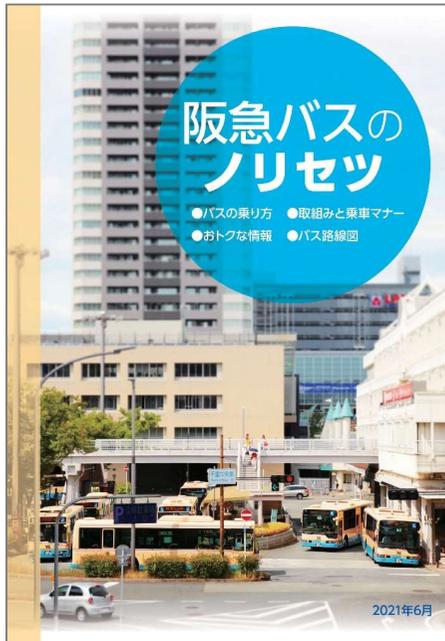
## 施策5 多様なツールを活用した分かりやすい情報提供の実施

○ 高齢者をはじめとした町民や町外からの来訪者など、誰もが公共交通の運行情報を簡単に入手できるよう、公共交通マップの作成や町ホームページ等による多様なツールを活用した情報提供を行う。また、内容は利用方法や主要施設の位置等を掲載し、分かりやすい内容を検討する。

### 【事例】バス事業者によるバスガイドブックの作成（阪急バス株式会社）

阪急バスの基本の乗り方、阪急バス・阪神バス共通ICカード乗車券「hanica」等のお得な情報、取組みや乗車マナー等をまとめた「阪急バスのノリセツ」を作成している。

#### ● 阪急バスのノリセツ



出典：阪急バス株式会社HP

### 施策6 運賃決済等の利便性向上を図る交通系ICカードの普及促進

○ 路線バスの利用促進を図るために、既に導入されている交通系ICカードを活用した割引制度や定期券等の情報提供を行い、交通系ICカードの普及促進を行う。また、町内の高校生の通学利用促進や高齢者の外出機会の増進等を行うために、定期券等の購入助成等についての検討を行う。

#### 【事例】高齢者外出支援事業によるhanica グランドパス 65 の購入費助成（兵庫県猪名川町）

町内に居住している高齢者又は運転免許証の自主返納等をしようとする高齢者に対し、交通費の一部を助成することにより、高齢者の外出を支援するとともに、社会参加の促進並びに高齢者による交通事故の抑制を図ることを目的として、「高齢者外出支援事業」を実施している。70歳以上で1年以上猪名川町に住んでいる方を対象に、hanica グランドパス 65 の購入費助成を開始している。

- ・ 能勢町内を運行する路線バス（阪急バス）は、交通系ICカード決済が可能である。

高年齢者対象 猪名川町

# hanica グランドパス65 購入費助成スタート

阪急バス全線・ふれあいバスで使用できるよ!

事業名称 高齢者外出支援事業

対象者 猪名川町に住んでいる70歳以上の方  
※1年以上町内に住んでいる方が対象です

助成金額 1年定期を購入の場合、最大2万円  
※所得区分によって助成金額は変動します  
※助成を受けるためには猪名川町へ事前申請が必要です

事業開始 令和3年4月よりスタート

はんきゅう グランドパス65  
2020.12.31 まで  
hanica  
ハンキョウ グランドパス 65 猪名川町  
65才 2019.12.31

ふれあいバス(町コミュニティバス)のすこやかカード提示による無償乗車制度は令和3年6月末をもって終了します。

お問い合わせ…猪名川町生活部福祉課高齢者福祉担当 TEL:072-766-0001 (代表番号)



出典：阪急バス株式会社HP

## 施策7 先進技術の活用による移動手段確保やICTの活用に向けた検討

○ グリンスローモビリティ、超小型モビリティ、自動運転による交通サービスやMaaSなど、先進技術を活用した移動手段の活用・導入に向けた研究・検討を進める。また、複数の公共交通手段を包括した経路検索・予約・運賃決済など、情報通信技術を活用したMaaSの構築に向けた研究・検討を進める。

### ● グリンスローモビリティとは

時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称である。



出典：国土交通省資料

### ● 超小型モビリティとは

自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両をいう。



出典：国土交通省資料

### ● MaaS（マース）とは

MaaS（Mobility as a Service）とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスである。



出典：日本版MaaSの推進HP（国土交通省）

### 施策8 公共交通利用に向けた意識啓発

- 小中学生や高齢者等を対象に、バスやタクシーの乗り方の周知などを図るとともに、日頃から公共交通を利用する意識醸成を図るためのイベント等の実施を検討する。
- また、広報紙やイベント時等に公共交通の運行状況や利用促進策等を紹介して、町民の意識啓発を図る。

#### 【事例】モビリティ・マネジメント教育の実施（兵庫県川西市）

川西市では、交通事業者と小学校の協働により、地域の財産でもあるバスを使って、公共マナー・交通安全・環境問題等を知り、バスの大切さを学ぶモビリティ・マネジメント教育を平成18年（2006年）から継続的に実施している。



出典：兵庫県川西市HP

## 施策9 地域で公共交通を支える仕組みづくり

○ 多様な主体の参画を促進するため、停留所周辺の民間事業者と連携して、停留所周辺の環境改善などに取り組む体制づくりや、公共施設をはじめ商業店舗などの施設内での待合いスペースの確保や運行情報の提供に努める。

### 【事例】「バスまちスポット」・「まち愛スポット」登録制度（埼玉県）

埼玉県では、出歩きやすいまちづくりの一環として、商店やコンビニ、金融機関や公共施設等に、バスを気軽に待てる施設やバス停留所まで歩くときに休憩できる施設として協力してもらっている。



出典：埼玉県HP

### 【事例】ベンチ設置費用の寄附募集（滋賀県大津市）

大津市では、広告を目的とした無許可のベンチの設置を防ぐために、ベンチ設置費用の一部の寄付を募集し、バス停にベンチを設置している。



出典：滋賀県大津市HP

## 施策10 交通事業者との連携による乗務員の確保

- バスやタクシーの乗務員不足の問題に対応できない場合、バス路線の規模を乗務員数に応じた路線規模に縮小せざるを得なくなり、全国において減便や路線廃止やタクシーの配車台数減少によるサービスの低下が見受けられる。
- 町内の交通事業者も乗務員不足の問題に対応する必要があるため、乗務員の確保に向け、若年層や女性を対象としたPRをするなど、バスやタクシー事業の魅力について交通事業者と連携して周知を図る。

### 【事例】ハローワークや交通事業者との連携による就職相談会の開催（兵庫県西宮市）

西宮市では、路線バスの運転士確保に向け、ハローワークとバス事業者で協力し、バスの運転士として働いてみたい・興味がある人及び運転の仕事を探している人を対象に、就職相談フェアを開催している。

### 路線バス運転士 就職相談フェア

路線バス運転士の高齢化や大型二種免許保有者の減少により、路線バス運転士が減少しています。路線バスのサービスレベルを維持するためには、運転士が必要です。みんなのお出かけを支える公共交通の担い手として、路線バス運転士になりませんか。

公共交通の担い手になろう

令和2年3月24日(火) 11:00~12:30  
受付(10:30~12:30)

会場 ハローワーク西宮 3階会議室  
西宮市青木町2-11

対象者 ●バスの運転士として働いてみたい人、興味がある人  
●運転の仕事を探している人

参加企業 西宮市内を運行する路線バス事業者  
阪急バス株式会社 阪神バス株式会社 みなと観光バス株式会社

開催内容 ①西宮市から市内の路線バスについて紹介  
②各企業からバス事業に関する概要説明  
③各企業と個別ブースでの就職相談

問合せ先  
■ 就職相談に関すること TEL: 0798-75-6714  
ハローワーク西宮 人材支援総合コーナー 受付時間: 平日 8:30~17:15  
■ 開催目的に関すること TEL: 0798-35-3527  
西宮市役所 交通計画課 受付時間: 平日 9:00~17:30

求人内容は裏面をご覧ください

共催: ハローワーク西宮 / 西宮市

### 路線バス運転士 就職相談フェア

令和2年3月24日(火) 11:00~12:30  
受付(10:30~12:30)

会場 ハローワーク西宮 3階会議室  
西宮市青木町2-11

企業名	雇用形態	試用期間	求人番号	必要な免許
阪急バス株式会社	正社員	6か月	27100-112501	大型、中型、準中型免許、または普通免許(A指定可、取得後3年経過している方)
阪神バス株式会社	契約社員	2か月	28030-1429701	大型自動車第二種免許、または普通免許(A指定可、取得後3年経過している方)
みなと観光バス株式会社	契約社員	3か月	28000-1315001	大型自動車第二種免許

各企業の人事担当者からのメッセージ

**阪急バス**

阪急バスでは正社員運転士を積極採用中です！教育制度や福利厚生も充実しています

**阪神バス**

阪神バスは路線・空港リムジンバスなどで地域の皆様へ快適なアクセスを提供しています

**みなと観光バス**

社員一人一人の健康や家庭環境を尊重に考えます。働きやすい、全員人間ドックを実施しています

●求人の職業情報等については変更されることがあります。  
●参加にかかる予約は不要です(先着順)。面接希望の方は当日相談の場にて受付を行います。  
●求人情報の詳細については最寄りのハローワーク、またはハローワークインターネットサービス(https://www.hello-work.nhlw.go.jp)にてご確認ください。  
●ハローワーク公開求人へ応募する場合は職業相談窓口で求職登録が必要です。(フェア当日に登録することも可能)  
●登録後、紹介状を発行しますので履歴書等応募書類とともに応募先企業へ提出してください。  
●この就職相談フェアへの参加は雇用保険受給資格者となります。  
●雇用保険受給資格者の方は、当日「雇用保険受給資格者証」をご持参ください。

問合せ先  
■ 就職相談に関すること  
ハローワーク西宮 人材支援総合コーナー TEL: 0798-75-6714 受付時間: 平日 8:30~17:15  
■ 開催目的に関すること  
西宮市役所 交通計画課 TEL: 0798-35-3527 受付時間: 平日 9:00~17:30

出典: 兵庫県西宮市HP